

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名		文化財保護委員会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木 清智
	施策	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	生涯学習課	担当者名	米村 大
	施策の柱	46	歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承			所属班	生涯学習班	(内線)	1501
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 10925	根拠法令	文化財保護法 合志市文化財保護条例	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	文化財保護委員会運営事業は、文化財保護法・熊本県文化財保護条例の規程に基づき、合志市教育委員会の諮問機関として設置された、文化財保護委員会の運営を行うものである。合志市内に現存する文化財の維持・保存・啓発活動に努めることを通して、文化財に対する市民の認識を深めると共に、郷土愛・文化財尊重の意識を高めることを目的としている。前述の目的を達成するため、昭和43年に文化財保護委員会を設置し、年4回の会議を開催している。その中で、文化財の指定・保存活用及び、文化財の調査・情報収集、文化財の指定・解除に関する協議等を行っている。
【業務の流れ】	①年4回の会議 ②熊本県文化財保護研修会への参加 ③文化財の調査・情報収集
【主な予算費目】	報酬、報償費、旅費(費用弁償)、委託料
【意見や要望】	臨時調査の費用の支払いがないと活動意欲が削がれる部分があるという意見があった。また、遠方での研修会の場合、参加が難しくなるとの意見もあった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	・文化財保護委員会(年4回のうち3回、コロナウイルスの影響で第4回は中止)を行った。 ・文化財の調査、情報収集、各種研修等への参加を行った。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 文化財保護委員会(年4回)、文化財の調査・情報収集、各種研修等への参加を行う予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア:文化財保護委員会開催数 イ:文化財調査及び研修会等参加回数	予算の主な増減の理由 文化財臨時調査の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	文化財保護委員会	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア:文化財保護委員の数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	文化財についての調査・情報収集・専門知識の習得により、文化財の保護・啓発・活用に貢献できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % ア:文化財保護に貢献した委員の割合
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
文化財は、歴史や文化等の正しい理解のために不可欠なものである。その保存及び活用を図ることは、文化の向上・発展に極めて重要であることから設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
①活動指標	ア	回	2	4	4	3	4	4	4	4	
	イ	回	2	4	4	2	4	4	4	4	
②対象指標	ア	人	8	7	8	8	8	8	8	8	
	イ										
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	0	
	イ										
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	166	180	223	174	197	232	232	232
		(A)事業費計	千円	166	180	223	174	197	232	232	232
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	1	3	4	3	3	3	0
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	230	200	0	690	300	300	300	300	
	(B)人件費計	千円	909	788	0	2,734	1,195	1,195	1,195	1,195	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,075	968	223	2,908	1,392	1,427	1,427	1,427	

事務事業名	文化財保護委員会運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 開催回数が少なかったため。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 開催すべき事案があることから見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 委員の研修参加機会の増加により、専門知識の習得を促す。委員の存在または活動内容を周知することで、一般市民と文化財行政とのパイプ役として、文化財保護に貢献してもらう。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事務事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の経費で運営しているため削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果維持のために必要な業務時間を当てているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内の文化財保護・啓発・活用につながる事業であるため、公平・公正といえる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 現状で適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

引続き文化財の指定・保存活用及び、文化財の調査・情報収集、文化財の指定・解除に関する協議等を行っていく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						